

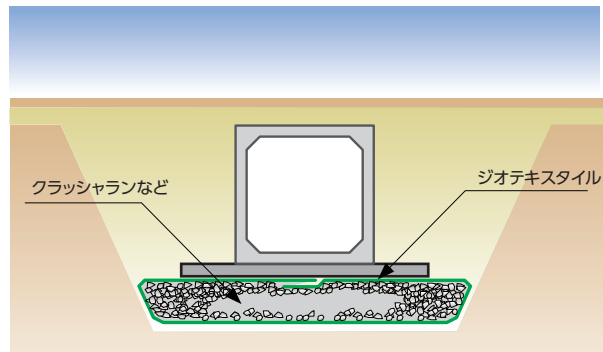
▶ マットレス工法 (軟弱地盤対策工法)

NETIS掲載終了
KK-050097-VE

局所的な地盤補強に有効な手法です。

●特長

マットレス工法は基礎地盤が軟弱な場合に、構造物の基礎部を補強材で包み込む工法です。基礎部の一体化効果とジオテキスタイルの引張力により、基礎地盤の地耐力を向上させ、構造物の不同沈下などの変形を防止します。



▲L型擁壁の基礎地盤補強の採用事例。農耕地に隣接しているため、コンクリートによる地盤改良が行えず、周囲の環境に影響を与えないジオグリッドを用いた「マットレス工法」が採用になりました。

▶ テラセル® マットレス工法 (構造物基礎)

NETIS登録
CG-160016-A

軟弱な地盤上に施工する構造物基礎の新しい不等沈下防止工法

●特長

1. 置換工法と比べ、対策する範囲を低減できます。
2. 材料が軽量かつ特殊作業を要しないため、施工性に優れ工期短縮ができます。
3. 中詰材をテラセルに充填し拘束するため、側方流動を防止できます。
4. 不同沈下を抑制できます。

